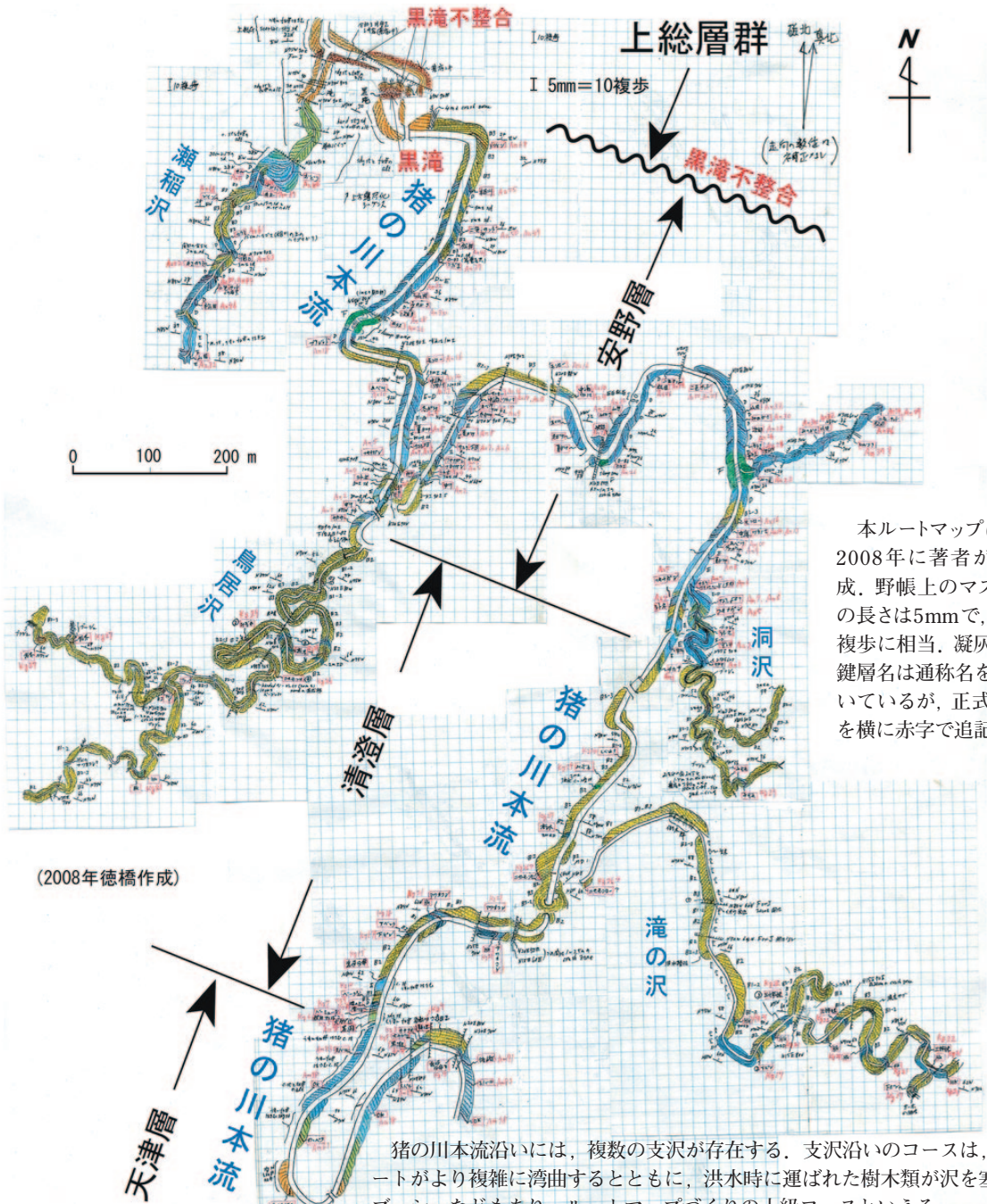


3年間(2007-2009)の地質の調査研修を振り返って(3) Bコース2:ルートマップ作成上級(自立)コースもしくは宿題コース (川沿い本流+支沢コース)

＜小櫃川支流猪の川(黒滝沢)本流+支沢:東京大学千葉演習林内＞



本ルートマップは、2008年に著者が作成。野帳上のマス目の長さは5mmで、10複歩に相当。凝灰岩鍵層名は通称名を用いているが、正式名を横に赤字で追記。

(2008年徳橋作成)

猪の川本流沿いには、複数の支沢が存在する。支沢沿いのコースは、ルートがより複雑に湾曲するとともに、洪水時に運ばれた樹木類が沢を塞ぐブッシュなどもあり、ルートマップづくりの上級コースといえる。

こうした支沢の場合は、本流での経験とデータを基に、研修参加者が自力でルートマップづくりを行うとともに、データを面的にカバーし、より正確な地質図づくりを行う自立コースとして有用である。しかし、研修期間がもう一週間ほど必要となることから、このコースは実施されていない。その代わりに、研修終了後に、参加者に支沢のデータを配り、宿題(机上演習)として地質図をつくってもらう方法も検討している。